

【参考】各指標の結果について

指標1 洪水高潮防護達成人口率

川を整備することで、防護達成人口率が上昇しました。



河川整備箇所(例)



永慶寺川(廿日市市)



国兼川(三次市)



羽原川(福山市)



本川(竹原市)

指標2 海岸高潮防護達成人口率

海岸を整備することで、防護達成人口率が上昇しました。



海岸整備箇所(例)



呉海岸仁方地区(戸田海岸)



尾道海岸泊地区

【参考】各指標の結果について

指標3 新安川流域浸水被害解消家屋数

新安川を整備することで、浸水被害を未然に防ぐ家屋数が増加しました。

H22末 0戸 → H27末 1,296戸

新安川(排水機場)



指標4 ダム堆積土砂量

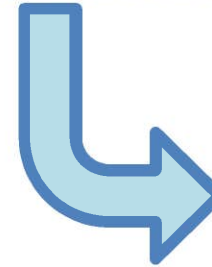
ダムの堆砂を撤去することで、ダムに堆積する土砂が減少しました。

H22末 20,000m³ → H27末 12,255m³

棕梨ダム
○ 撤去前



○ 撤去後



【参考】各指標の結果について

指標5 長寿命化計画策定箇所数

排水機場の適切な維持管理に向け、施設ごとに長寿命化計画を策定しました。

H22末 3箇所 → H27末 9箇所

長寿命化計画に基づく施設更新（例：防寺排水機場）

○主ポンプ駆動設備の更新



更新前



更新後

○主ポンプ設備の整備



整備前



整備後

指標6 瀬野川高水敷利用可能人数

瀬野川の高水敷の整備及びスロープの設置を行いました。

H22末 0人 → H27末 1,050人

○スロープ設置



○高水敷利用状況（瀬野川健康ウォーキング）

